

IATSS NEWS

学会通信 国際交通安全学会

- 第4回IATSS国際フォーラム (GIFTS)開催
- 第60回IATSSフォーラム修了
- 第9回IATSSフォーラム国際同窓生会議
- IATSS Research Vol.42, Issue 3およびIssue 4発行

第4回IATSS国際フォーラム(GIFTS)開催

国際交通安全学会は、各々の学問領域を跨ぐ学際的な学術研究にとどまらず、政府・産業界・市民など、交通に携わる全ての方々のご参画に基づく取り組みとして「超学際性 (Transdisciplinary)」を重視し、事業活動を展開してまいりました。加えて、2024年に創設50周年を迎えますが、事業のさらなる拡充を目指して、国際活動を強化することといたしました。

その施策の一環として、国際フォーラム“Global Interactive Forum on Traffic and Safety” (略称GIFTS)を毎年開催しています。GIFTSは2015年に第1回が開催さ

れて以降、交通とその安全に関する国際的・学際的「共創」の場として国際社会に貢献できることを目指し、多方面の招聘者の方々による活発な討議を展開してきました。

第4回GIFTSは、2018年11月2日(金)、国連大学(東京)におきまして『比較文化の視点から交通安全を考える』をテーマに開催されました。交通とその安全に関する諸問題は、市民生活のスタイル、個人行動の特徴、その集積結果である社会的特質などを反映したものであり、地理的条件や気候、哲学、宗教、倫理観などの文化的背景によって、大きく影響を受けている

と考えられます。こうした一般的な地域性・文化的背景などにより、交通事故発生に至る主要因の傾向の違いや、交通混雑の社会的許容度などに違いが生じます。本シンポジウムでは、さまざまな立場から地域性、文化的差異などを理解することが重要と考え、藤森照信氏に「考現学」の立場から路上観察の具体例に基づく基調講演をいただきました。これに続いて、交通安全の専門家や国際機関の行政担当者の方から交通安全に関わるトピックスが提供され、これら報告に続き、登壇者の方々、さらには会場の参加者の方々による活発な討議が行われました。

詳細は下記をご覧ください。

▶<http://www.iatss.or.jp/event/list/event19.html>

シンポジウム「比較文化の視点から交通安全を考える」

- | | |
|--------------------------|--------------|
| ●開会挨拶 会長 | 武内 和彦 |
| ●趣旨説明 国際フォーラム実行委員会委員長 | 大口 敬 |
| ●基調講演 東京江戸博物館館長/東京大学名誉教授 | 藤森 照信 |
| ●パネルディスカッション | |
| 司会 日本大学大学院教授 | 佐野 充 |
| 話題提供/パネリスト | |
| カイロ大学工学部名誉教授 | Ali Huzayyin |
| WHO UIP チーム コーディネーター | Nhan Tran |
| パネリスト | 藤森 照信 |
| ●閉会挨拶 専務理事 | 鎌田 聡 |
| | <敬称略> |



第60回IATSSフォーラム修了

IATSSフォーラムは、1985年より開始し、現在はアジア10カ国（カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）から研修生を招き、次世代若手リーダー育成をする研修を行っています。

研修の修了生（59回までの累計：1,031名）は、政府機関、大学、企業、NPO等で活躍すると共に、各国、各地域の課題に対応すべくボランティア活動にも積極的に参加しています。

第60回は2018年9月22日から、9カ国18名が参加して始まりました。

鈴鹿を拠点に、京都、神戸、鳥羽、東京を訪問し、環境、政治、交通他のセミナー、視察、国際交流、ケーススタディ等、55日間の研修を行い、11月10日には全員が無事修了式を迎えることができました。

研修テーマとして「持続可能な地域・社会づくり」を設定し、武内会長による導入セミナーをはじめとし、事例研究、その他講義を通じて、地域・社会をより良くするために何が必要なのか、住民・企業・行政がどのように連携すべ

きか「共に考え、共に学ぶ」行動を実践しました。

文化的背景・専門分野の異なる研修生たちが、積極的に知識を共有し、切磋琢磨しながら真剣に研修に取り組みました。その成果として、研究発表会では、各グループより以下の3つのプロジェクトが提案されています。

1. ホテル等の排水による環境汚染により、大統領の方針で6カ月間の閉鎖に追い込まれたフィリピンの人気リゾート地ボラカイ島に着目し、住民、企業、観光客に環境保護のマインドを身につかせるモバイルアプリを作り、展開するプロジェクト
2. 植民地時代が終わって80年も経過しているのに、いまだに良くならないアセアン諸国の初等教育を問題と捉え、ラオスの地方の小学校を手始めとして、先生たちの「教え方」や「モチベーション」を向上させるプログラム
3. インドネシアで一番美しいといわれるロンボク島のリンジャン山（標高：3,726m）の登山道に

ある村が、2018年8月の大地震で甚大な被害を受け、数千人の住民は住居や登山ガイドの職を失い、生活に困窮しており、彼らを支援するため、付近で生産しているリンジャンコーヒーのブランド力を上げ、地域経済の活性化と住民の収入アップを図るプロジェクト

研修生の中には、さっそくこれらの提案を自国に持ち帰り、同窓会メンバーと連携し、実現させようという動きも出ています。

研修生からIATSSフォーラムのリーダーシップ研修に対する生の声を聞く機会である振り返り会では、「自分自身を深く知り、また、自分に自信を持つことができた」「バックグラウンドも専門性も異なる多様な研修生との関わりを通じ、大きな刺激を受け、考え方や視野が大きく広がった」など、多くの賞賛の声を聞くことができました。

研修生各々が研修中に培われた知識・体験・人との絆を活かし、将来を担う若手リーダーとして、さらに成長しグローバルに活躍してくれることを期待しています。



▲ グループ研究発表会の様子



▲ 民族衣装を身にまとった研修生

第9回IATSSフォーラム国際同窓生会議

1985年に開講し、2018年で60回となったIATSSフォーラムを修了した研修生は、1,049名を数えますが、3年前のミャンマーでの第8回国際同窓生会議に引き続き、昨年12月8日、9日に第9回国際同窓生会議をラオスにて開催しました。

当イベントには、ASEAN9カ国および日本の同窓会役員、同窓生、IATSSフォーラム事務局を含め、約120名が世界遺産で有名なラオスのルアンパバーンに結集し、各国の同窓会活動の情報共有を行い、今後の同窓会活動をどのように強化していくのか、グループ討議を実施しました。討議は、国、参加年度を混合した小グループで行い、各国の好事例、課題、アイデアの共有など、活発な意見交換が行われました。討議結果は各国同窓会長による「ルアンパバーン宣言」に盛り込まれ、各国同窓会長、実行委員会代表、事務局代表の全員が署名をして、同窓

会活動強化の方向性（各国同窓会活動好事例の共有と今後3年間のプロジェクト展開等）を相互に確認しました。

翌日は、ルアンパバーンの主要産業である手工芸とエコツーリズムの展開状況を視察しました。手工芸の伝統技術の継承については、村全体での取り組みと、社会的企業（Social Enterprise）による取り組みの両方を見学、その違いを比較することで、それぞれの良さや課題を実感することができました。エコツーリズムでは、ラオスの魅力の一つである自然資源をいかに観光と結びつけ、地域の収入源とするか、地元住民を巻き込んだエコツーリズムの成功事例を見学しました。各視察先では、ルアンパバーン観光局の地元ガイドの解説に加え、ラオス同窓会メンバーや現地大学生が、個々の質問にも細やかに対応しており、今後の各国同窓会活動のヒントとなる充実した現場訪問となりました。

小グループで行った討議および現場訪問に対して、参加者よりIATSSフォーラムのモットーである「『Thinking & Learning Together』再体験の場」「新旧が互いに学び合う機会となった」という声も聞かれ、同窓生間のネットワーク強化にもつながりました。

今回の国際同窓生会議の開催にあたっては、現地ラオスの同窓会役員や同窓生に加えて、現地では国際会議の位置付けと捉えていただき、ラオス政府機関であるラオス青年同盟（IATSSフォーラムラオス委員会・事務局の母体）やルアンパバーン市の多大な協力と幹部メンバー参画のもと、充実した会議を成功裏に終えることができました。

次回の第10回IATSSフォーラム国際同窓生会議は、2021年にシンガポールでの開催となりますが、「ルアンパバーン宣言」に基づき、引き続き同窓会活動の強化を進めてまいります。



▲ルアンパバーン宣言に署名した各国同窓会長たち



▲草花をすき込む、紙すきを見学

IATSS Research Vol. 42, Issue 3 およびIssue 4発行

IATSS Research Vol. 42, Issue 3およびIssue 4が発行されました。
Elsevier Ltd.のサイトより、無償で全掲載論文のダウンロードが可能です。

Vol. 42, Issue 3

▶ <https://www.sciencedirect.com/journal/iatss-research/vol/42/issue/3>

Natalia Distefano, Salvatore Leonardi

A list of accident scenarios for three legs skewed intersections

Navid Khademi, Abdoul-Ahad Choupani

Investigating the road safety management capacity: Toward a lead agency reform

Zarir Hafiz Zulkipli, Siti Atiqah Mohd Faudzi, Abdul Rahmat Abdul Manap,

Noor Faradila Paiman

Non-fatal spine injuries resulting from motorcycle crashes

Scott Le Vine, Chenyang Wu, John Polak

A nationwide study of factors associated with household car ownership in China

James Damsere-Derry, Shaibu Bawa

Bicyclists' accident pattern in Northern Ghana

Subasish Das, Bradford K. Brimley, Tomás E. Lindheimer, Michelle Zupancich

Association of reduced visibility with crash outcomes

Mark W. Hoglund

Safety-oriented bicycling and traffic accident involvement

Vol. 42, Issue 4

▶ <https://www.sciencedirect.com/journal/iatss-research/vol/42/issue/4>

<Special Feature: Traffic Safety Improvement among the Youth in Asia>

Yuto Kitamura, Makiko Hayashi, Eriko Yagi

Traffic problems in Southeast Asia featuring the case of Cambodia's traffic accidents involving motorcycles

Nagahiro Yoshida, Toshiki Koyanagi

Empirical analysis of hazard perception and driving behaviors among high school and college students on motorcycles in Phnom Penh, Cambodia

Seiya Matsuoka

Traffic management project in Phnom Penh

Tadanori Yamaguchi

The need for building role models for motorcycle riders' education in the kingdom of Cambodia

Murungi Elizabeth MWEBESA, Kento YOH, Hiroto INOI, Kenji DOI

A new approach to cross-sector cooperation in road safety through a comparison of policies in selected countries

<General Topics>**Muhammad Marizwan Abdul Manan, András Várhelyi, Ali Kemal Çelik, Hizal Hanis Hashim**

Road characteristics and environment factors associated with motorcycle fatal crashes in Malaysia

Kan Shimazaki, Tasuku Ito, Ai Fujii, Toshio Ishida

The public's understanding of the functionality and limitations of automatic braking in Japan

John Jowhell Villegas, Wael K.M. Alhajyaseen, Hideki Nakamura, Azusa Goto

Performance evaluation of the inside intersection median-turn lane markings on the mobility and safety performance of signalized intersections in the Philippines and Japan

Hiroshi Yoshitake, Motoki Shino

Risk assessment based on driving behavior for preventing collisions with pedestrians when making across-traffic turns at intersections

Yanlei Gu, Li-Ta Hsu, Shunsuke Kamijo

Towards lane-level traffic monitoring in urban environment using precise probe vehicle data derived from three-dimensional map aided differential GNSS

Mahdi Rezapour, Shaun S. Wulff, Khaled Ksaibati

Effectiveness of enforcement resources in the highway patrol in reducing fatality rates

Natalia Distefano, Salvatore Leonardi, Giulia Pulvirenti

Factors with the greatest influence on drivers' judgment of roundabouts safety. An analysis based on web survey in Italy

Essam Dabbour, Marwa Al Awadhi, Mina Aljarah, Malak Mansoura, Murtaza Haider

Evaluating safety effectiveness of roundabouts in Abu Dhabi